

馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

萬福寺だより

第37号

2020年冬号／no.37／令和2年12月1日発行

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

HP <http://www.manpukuji.or.jp>

年末恒例「除夜の鐘つき」は中止いたします 年明け2日、3日の御祈祷諷經にお越しく下さい

萬福寺住職 安本 由道

今年春頃から続く新型コロナウイルスの感染拡大のため、日本だけでなく世界中の人々が不安を抱えながらの生活を余儀なくされています。

一方で、新型コロナウイルス感染者への差別、医療従事者や飲食店の方への心ない誹謗中傷等の事態も発生しており、行政への相談窓口が設けられるほど大きな問題となっています。宗門に身を置く人間としても、深く考えなければならぬと思っております。

コロナウィルスの終息が不透明であるため、大きな不安や恐れを抱く方は大勢いらっしゃるかと存じます。ですが、今最も必要なことは、正しい理解のもと、お互いを助け合い、支え合うことではないでしょうか。

不安・恐怖を抱くことは当然の感情です。しかし、その不安と恐怖も過剰になれば偏見を生み、結果的に多くの人々を苦しめる原因となります。

道元禪師は、生きとし生ける者がお互い慈悲の心を持つことを説かれていらっしゃいます。「慈悲」は、衆生の苦を除き、樂を与える意ですが、助け合う心、支え合う心、相手を思いやる心もまた慈悲の心でございます。

このような苦しい社会生活においても、道元禪師の仰る慈悲の心を持って、全ての人々に分け隔てなく、私たちがお互い尊重し合う社会を目指していければと切に願う次第です。

*

今年最後の報恩感謝の法要であります「歳末諷經」は例年12月31日午後11時より始め「大般若会御祈祷」後、除夜の鐘を撞きましたが、今年は、萬福寺の僧侶のみで午後4時頃の法要後、除夜の鐘（略式）を撞いて年内行事を終了することとしました。正月2日・3日午前11時より「大般若会御祈祷」を執行致しますので、墓参の際、ご参会お待ち申し上げます。

病氣平癒のご利益がある「不動明王」の
金屏風絵（佐藤朝山作・萬福寺所蔵）



行事予定

● 沐浴式・御開帳 12月14日（月）午前11時～（山内の僧侶のみのお勤め）

● 歳末諷經 12月31日（木）午後4時～（山内の僧侶のみのお勤め）

● 正月大般若会御祈祷諷經 1月2日（土）3日（日）両日午前11時～

御本尊が御開帳され、御札が配られます。初参りの際にお立ち寄りください

昨年の様子

